

ダイオ化成株式会社(単独)

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	6,670,525	流動負債	1,463,141
現金及び預金	580,026	買掛金	626,486
受取手形	406,126	一年以内に返済予定の長期借入金	279,360
売掛金	1,787,319	未払金	394,313
商品	1,060,106	未払費用	43,903
製品	1,627,765	未払法人税等	6,897
原材料	362,495	未払消費税等	18,084
仕掛品	157,100	預り金	4,507
貯蔵品	58,152	賞与引当金	55,986
前渡金	8,546	先物為替予約	33,299
前払費用	18,419	その他	301
関係会社短期貸付金	581,725	固定負債	397,235
繰延税金資産	17,831	長期借入金	337,500
その他	4,953	長期未払金	3,695
貸倒引当金	△42	繰延税金負債	42,340
固定資産	4,604,792	その他	13,700
有形固定資産	4,046,893	負債合計	1,860,376
建物	1,702,537	(純資産の部)	
構築物	72,113	株主資本	9,398,529
機械装置	318,492	資本金	300,000
車両運搬具	1,026	資本剰余金	2,289,805
工具器具備品	24,810	資本準備金	2,289,805
土地	1,923,981	利益剰余金	6,808,724
建設仮勘定	3,933	利益準備金	120,285
無形固定資産	37,400	その他利益剰余金	6,688,439
ソフトウェア	28,693	別途積立金	4,268,900
ソフトウェア仮勘定	5,988	特別償却準備金	112,202
電話加入権	2,718	繰越利益剰余金	2,307,336
投資その他の資産	520,498	評価・換算差額等	16,412
投資有価証券	141,744	その他有価証券評価差額金	16,412
関係会社株式	310,814		
破産更生債権等	6,586		
長期前払費用	21,281		
差入保証金	27,147		
保険積立金	18,755		
その他	755		
貸倒引当金	△6,586		
資産合計	11,275,318	純資産合計	9,414,942
		負債・純資産合計	11,275,318

ダイオ化成株式会社(単独)

I. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式  
移動平均法による原価法によっております。

その他有価証券

時価のあるもの…………… 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法によっております。

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法によっております。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品及び仕掛品…………… 総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

商品、原材料…………… 主として月別総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)  
及び貯蔵品

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産…………… 定率法によっております。

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3～34年  
機械装置 主として7年

(2) 無形固定資産…………… 自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) 長期前払費用…………… 均等償却によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金…………… 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金…………… 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

II. 当期純損益金額

当期純利益 352,386千円